

中学生海外研修2025

オーストラリア直送レポート



Vol.5

2025.8.14 登校4日目

ドリップストーン校グループ／教育委員会社会教育課 栗栖

吉備中学校 平野

パーマストーン校グループ／教育委員会社会教育課 児玉

八幡中学校 熊ノ郷

[ドリップストーン校グループ]

8月14日（木）の主なスケジュール

ドリップストーン校に登校→2班に分かれて数学の授業→2班一緒にメディアの授業→オーストラリアと日本食の料理を作る→みんなで食べる

ドリップストーン校にもすっかり慣れた様子で登校した生徒たちでした。各教室に移動する前に、現地の中学生に質問するミッションを与えました。「放課後何をするのか、オーストラリアが赤い島・日焼けの国と言われている理由、日本に対する印象、将来の夢」についてです。また、ドリップストーン校では14日の夜に地域に学校を開放して科学作品の展示を行っています。全生徒が参加するものなので、それらの事柄についても質問を考えました。



メディアの授業では、日本にいる生徒や地域の人に向けての動画を撮るための準備を行いました。オーストラリアの好きなところ、行きたいところ、オーストラリアのおすすめするものなど、月曜日に実際に撮影するため、生徒たちは自分で答えを考えて練習をしていました。全て英語での説明のため、理解するのに手間取りましたが、全員が準備をすることができました。また、余裕のある生徒は廊下に出て朝に与えられたミッションを行っていました。積極的に話しかけようとしている姿から、自分の英語に自信がつ

いてきているように感じました。



3、4時間目にはオーストラリア料理（ミートパイ、ベジマイト料理、ラミントンなど）と日本食（焼き鳥、巻き寿司）を作りました。ホストファミリーの生徒たちと力を合わせながら合計6種類ほどの料理を作りました。食事の際、ベジマイトを初めて食べる生徒はその味に驚いていました。巻き寿司と焼き鳥も好評で、ドリップストーンの生徒の中にはわさびの味が好きだという生徒もいたり、お互いの国で親しまれている味を堪能しました。



5時間目にはドリップストーン校の先生から今回の海外研修の修了証を手渡され、記念の写真立てに絵を描きました。オーストラリアで心に残っているものを描く生徒や、関わってくれた人たちにサインをもらう生徒など、各々自分達の額縁を完成させました。

生徒の中には半分以上の滞在期間が過ぎてしまったことに寂しく思っている様子の生徒や、自分の英語力に自信がついてきた生徒が現れてきました。残り短い時間ですが、生徒たちの更なる成長のために尽

カしていきたいと思います。



[パーマストン校グループ]

8月14日（木）の主なスケジュール

中等部キャンパスに登校 → 授業（英語、体育、Rock & Water、数学）→ 昼休み
→ 授業（理科）

今日は1日中等部校舎で授業の日です。今日もみんな元気に登校しました。

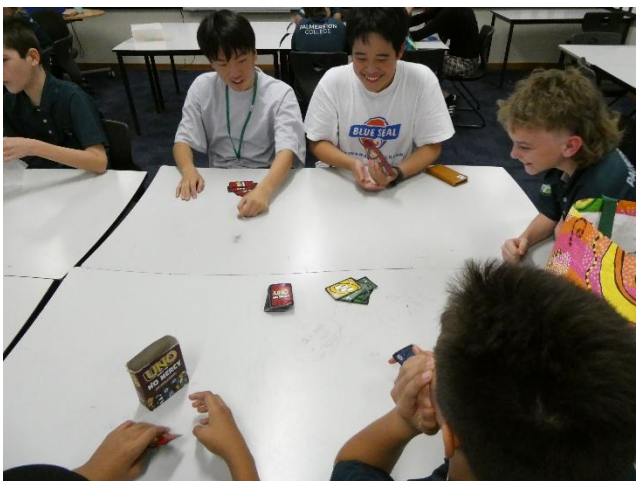
1時間目は英語（国語）の授業でした。アボリジニの昔話と日本の昔話を比べながら、昔話からどんな教訓が読み取れるのかを学びました。その後、グループに分かれて、自分達で昔話を作りました。研修生達は、約10分という短い時間でも、パーマストンの生徒と話しあいながら、「協力」や「友情」などをテーマにした物語を作ることができました。



2時間目は体育でした。縄跳びやランニングなどウォームアップをした後、2チームに分かれて、テニスをしました。日本の授業でしたことがある研修生がほとんどだったので、パーマストンの生徒達と楽しく試合をすることができました。

2時間目と3時間目の間にリセスという長めの休憩時間に、多くのパーマストンの生徒が話しかけてくれました。研修生達にとっては英語を使う機会でもあり、何よりもたくさんの友人を作る貴重な時間になりました。

3時間目は、「Rock & Water」という授業でした。心と身体を意識して、周りの人々と調和をとるこ



とを目標にしている授業でした。ペアで身体を使うアクティビティをしたのですが、すべての活動の前にお互い「リスペクト（尊敬）」と挨拶をします。激しく身体を使いながらも穏やかな精神も大切にしている授業で、最後にはマインドフルネス（瞑想）も行いました。

4 時間目は、数学でした。2 チームに分かれて、1 つはトランプを使ったゲームで、もう1 つは、ボールを使って角度を考えるという授業でした。角度の授業は、バレーボールを使ったのですが、生徒達は試合に熱くなり始めて、最後には角度はあまり考えずに楽しいバレーボール大会のようになっていました。

昼休みも、研修生達はいろんな生徒と話をしたり遊んだりして、どこに研修生がいるかわからないくらいにパーマストンでの学校生活に馴染んでいました。

5 時間目は理科でした。動画でいくつかの実験を見て、その後先生が実際に同じ実験を見せてくれました。

た。特に、ペットボトルにドライアイスを入れて爆発させる実験は、本当に迫力があり、化学反応を体感できる授業でした。

パーマストンでの授業もあっという間に残りわずかになりました。研修生には、一つひとつの出会いや体験を大切にして、オーストラリアでの生活を楽しんでもらいたいです。

